



社協の活動に
ご協力
お願いします！

社協 だより

平成25年3月1日号

No.144



社会福祉法人

伊東市社会福祉協議会

伊東市大原一丁目7番12号保健福祉センター内
事務局 電話番号 36-5512
長寿いきいきサポート伊東 38-4165
FAX 番号 36-1199

ご挨拶



平成25年が明けて早くも2ヶ月が経ちました。本年もよろしくお願ひ致します。

平素は社会福祉事業に深いご理解を賜り、ありがとうございます。皆様には経済が低迷する中、共同募金、歳末たすけあい募金に協力いただき、ありがとうございました。

歳末たすけあい募金もお陰をもちまして恵まれない方々にお届けすることができました。厚くお礼申し上げます。

さて、昨年政権が変わり、安倍内閣が発足いたしました。大幅な金融政策をとり、経済再建を旗印に経済力を増し、雇用を生み出し、デフレから脱却し、景気を好転させること、これを公約としております。福祉の政策も益々重要となっております。家族にも頼れず、病院や施設を転々とする孤独な老人が増えております。こういう社会を老人漂流社会とか無縁社会と言っております。福祉の政策として安住できる施設を一日でも早く完備してもらいたいものです。

我が国の少子高齢化は急速に進み、高齢化率は静岡県平均23.3%（H23.4調）を示しており、伊豆半島6市6町では平均29.0%（H23.4調）を示しております。伊東市も例外ではありません。高齢化率34.3%（H24.9調）に達しております。少子化も進み、人口問題研究所の将来推計人口は73,000人が、7年後の平成32年には67,000人まで減少し、どう歯止めをかけるかが大きな問題でしょう。少子高齢化が進めば、当然生産人口も減少してまいります。現在単純に計算しても65才以上人口に比し1.65人となっております。つまり高齢化が進めば、その高齢化する人口に対し生産する人口が減少していくということです。高齢化と生産人口の減少が進めばより一層の財政困難を招くでしょう。福祉を

充実するには資金が必要です。少子高齢化はそれに反比例し福祉にかかる資金の調達が困難になります。減少する生産人口で高齢化する社会を支えることは益々難しくなっていきます。そこで協働、共助が必要となってきます。例を挙げれば、高齢者見守りボランティア、老人が老人を見守る老々協働等を組織立て、お互いが生活していくことを自覚しなければなりません。自助、協働、共助（自分のことは自分で、行いができない人の面倒を見る）の意志を強く持ち、高齢化社会に対応しようではありませんか。

昨年11月末、岩手県宮古市、大船渡市に震災後の復興状態を視察に行っていました。その中に社会福祉協議会のショッキングな重点目標がありました。「自殺 ひきこもり」の予防に対応とのことです。災害でショックを受け、立ち直ることができず前途を悲観する人。仮設住宅でプライバシーが保たれず、うつになる人。こういう人々に社会福祉協議会や民生委員の方々がどう向き合っていくのか、どう語りかけていくのかの難しさと、環境の整備がいかに重要かを痛感しました。

静岡県は海岸線が長く南海トラフ地震、相模湾地震が起きた場合、大津波が予想されます。東日本大震災を教訓として防災、減災を自覚しましょう。

私たち社会福祉協議会は、地域社会に住む誰もが安心して暮らすことのできる共同体社会の構築を使命として活動しております。同じ地域に暮らし、共通の課題をもつ市民一人ひとりが運命共同体としての支え合いを強くもち、一緒に行動しようではありませんか。皆様の一層のご支援、ご協力をお願いし、併せてご多幸を祈念し挨拶とさせていただきます。

伊東市社会福祉協議会会長 太田和男
伊東市共同募金委員会会長



歳末たすけあい募金へのご協力ありがとうございました

目標額(3,200,000円)を超える多くの浄財が寄せられました。経済状況の大変厳しい中、市民の皆様のご温かい志、本当にありがとうございました。関係者一同、心より御礼申し上げます。

〈内訳〉

伊東市共同募金委員会

平成24年度
歳末募金実績額
3,218,234円

大口募金	街頭募金	窓口募金
目標額 1,300,000円 実績額 1,240,000円	目標額 700,000円 実績額 695,882円	目標額 1,200,000円 実績額 1,282,352円
市内の会社・事務所・篤志家の方々による募金です。(一口1万円以上) 奉仕者 区長さん・民生委員さん	奉仕者 ボーイスカウト・ガールスカウト・女性連盟・仏教会・仏教婦人会	市役所・各出張所・社会福祉協議会を窓口とし、多くの市民の皆様より多額のご芳志を賜りました。

東日本復興地の地域づくり活動 視察研修会報告

本会では、地域の見守り活動や地域の支え合いを東日本大震災の復興地（宮古市、大船渡市、陸前高田市）に学ぶことを目的に平成24年11月29日(木)から12月1日(土)にかけて、自治会関係者・民生児童委員、女性連盟、ボランティア、地域包括支援センター職員30名で視察研修を実施いたしました。

1 岩手県社協視察研修

〈11月30日(金) 9:00～10:30〉

生きる希望の持てる復興計画を……

災害ボランティアセンターの運営状況と課題の報告、民生児童委員の支援活動では、要援護者の安否確認中に多くの委員が亡くなり、発災後の支援で避難所を回っての声かけ、通院の手配、被災者とボランティアとのつなぎ役を担うなど、地域を知る民生児童委員でなければできない活動の報告がありました。また、岩手県では生活支援相談員を180人設置、全戸訪問し、仮設住宅では緊急対応や通院介助など被災者に寄り添う支援に取り組んでいました。

そして、現在の被災者の状況は、仮設住宅に暮らす人の中で自立再建できる人との格差が広がり、将来に向けて希望が持てる復興計画が必要であるとの説明がありました。



盛岡市ふれあいランド岩手での岩手県社協による研修

2 田老地区での復興地視察研修

〈同日13:45～15:00〉

災害は人智を超えるもの、自分の判断で命を守ってほしい！

田老地区は高さ10mの防潮堤に囲まれ、津波が到達するまで30分あったが、多くの犠牲を出してしまったことを被災者自らガイドを務め、防潮堤の上から被災状況の説明を受け、その後、被災した6階建てホテルの最上階で津波に襲われる街を撮影した映像を基に津波の恐ろしさを学びました。



田老地区防潮堤でのガイドによる被災状況の説明



田老地区の壊れた防潮堤内側で唯一残った6階建てホテルで被災者による講話の研修実施

お知らせ

ボランティア活動保険

平成25年度『ボランティア活動保険』の受付を開始しました！

『ボランティア活動保険』は、日本国内におけるボランティア活動中におこる様々な事故に対する備えとして、無償で活動するボランティアの方々に補償する保険です。社会福祉協議会窓口にて受付しておりますので、お気軽に來所してください。☎36-5512

3

宮古市社会福祉協議会 視察研修

〈同日15:30~16:30〉

① 伊豆栄光湯川保育園の寄附金の贈呈

「ゆかわ未来っこまつり」の東日本大震災チャリティーの収益金57,530円を本会が預かり、田老児童館父母会へ寄附金を贈呈いたしました。



② 宮古市社会福祉協議会での研修

社協の役割は「住民の困りごとを解決すること。」……

安心・安全の確保を最優先に避難所支援、仮設住宅での復興支援説明会の開催、集会所でのサロン活動、災害ボランティア受入れ状況などの報告があり、支援する側にも大きな人的被害がありました。まずは自分の命を守る退避行動が重要であり、何か起こってから行動することは困難であることから、日頃からのつながりや行動することが大切であるとの報告がされました。

4

大船渡市から椿の苗を受領、同市仮設住宅への物資贈呈、被災者手芸品の売上金贈呈

〈12月1日(土)〉



皆さんに忘れられてしまうことが悲しい……

大船渡市と市の花木を同じくする伊東市と椿の苗をお互いに植樹したことから、再び苗木の贈呈を受け小室山公園に植樹しました。また、仮設で暮らす人たちの手芸品を昨年11月25日に開催したふれあい広場で販売し、その売上金56,700円を被災者支援する現地NPO法人へ贈呈いたしました。

5

参加者からの声 (一部を掲載)

- ・ 講話で「民生委員は死んではいけない。」と訴えられた。自分が逃げることに心の葛藤があるが、民生委員は生き延びて、要支援者や避難所での支援活動が求められることが強調された。(民生委員児童委員)
- ・ まず、自分の目で被災地の現状をよく見て、我々の町と比較して今後防災面に取り組んで行く必要があると思う。今回の視察研修は心に残る程よかった。(自治会関係者)
- ・ 長引く仮設住宅での生活から人間関係等新たな問題も起きていることを知り、時が経つにつれ薄れがちな関心を失わず、心を寄せ続けていきたいと思いました。(地域団体 女性)
- ・ 面倒を見る側と看られる側の心のケアが大切だと思いました。被災地から遠く離れた地域に住む私たちにできることは少ないが、復興支援のエールを送り続けて行こうと再確認した。(地域団体 女性)

社協あんしん法律相談

静岡県弁護士会沼津支部による無料相談事業

実施日／毎月第2・4火曜日 13:30~16:30(要予約)
 場所／保健福祉センター(伊東市大原一丁目7番12号)
 相談料／無料
 相談時間／一人25分
 申込先／伊東市社会福祉協議会
 住所／伊東市大原一丁目7番12号
 電話／0557-36-5512
 FAX／0557-36-1199



心・配・ご・と・相・談

地域の民生委員児童委員が相談員となり、身近な窓口として相談をお受けします。福祉の制度や様々な支援サービスなど、関係機関との橋渡しをおこない、心配ごとの解決をお手伝いします。

実施日／毎週水曜日 13:30~16:00(予約不要)
 場所／保健福祉センター(伊東市大原一丁目7番12号)
 相談料／無料
 申込先／伊東市社会福祉協議会
 住所／伊東市大原一丁目7番12号
 電話／0557-36-5512



平成24年度 歳末たすけあい募金 配分報告

皆様の善意に支えられ、市内で生活援助を要する方や在宅寝たきり高齢者、身体・心身に障がいを持つ方、交通遺児の方々へ配分委員会の決定に基づいて、下記のとおり昨年12月中に民生委員児童委員協議会、市役所の協力により配分させていただきましたのでご報告いたします。

【収入】 3,218,234円 **【配分金額】 3,113,839円**

※収入と配分金額の収支差額104,395円は、次年度の共同募金配分金として事業費に充当されます。

【配分対象】 1施設 99世帯 446人

【配分内訳】

(1) 準要保護（低所得者）世帯への配分

区分	対象者数	配分額
世帯割	99世帯	693,000円
人員割	264人	792,000円
小学校新入学者	2人	30,000円
中学校新入学者	11人	220,000円
合計	99世帯277人	1,735,000円

(2) 在宅障がい者への配分

区分	対象者数	配分額
知的・身体障がい者	62人	434,000円
精神障がい者	13人	91,000円
合計	75人	525,000円

(3) 在宅障がい児への配分

区分	対象者数	配分額
在宅障がい児	19人	133,000円

(4) 交通遺児への配分

区分	対象者数	配分額
交通遺児	7人	70,000円

(5) 市内福祉施設への配分

区分	対象者数	配分額
無認可保育園	1施設	20,000円

(6) 在宅ねたきり高齢者への配分

区分	対象者数	配分額
在宅ねたきり高齢者	68人	476,000円

(7) 平成24年度 配分諸経費

59,839円

(8) 平成25年度 運動準備金（県共募へ送付）

95,000円

善意銀行

（平成24年11月～平成25年1月分）〈順不同・敬称略〉

寄附金		寄附物品			
11月分	伊東市民生委員児童委員協議会	11月分	匿名	くだもの	
	伊東市老人クラブ連合会		アピタ伊東店	拾得物	
	ほほえみ		真如苑	タオル	
	12月分	伊東市女性連盟	12月分	匿名	くだもの
		伊東菓子組合		エクシブ伊豆	車椅子
		シニアプラザくすみ	1月分	マックスバリュ東海株式会社	車椅子
土屋 友和	東静岡ヤクルト販売株式会社	ヤクルト6,995本			
12月分	若竹母親クラブ	匿名	匿名	くだもの	
	更生保護女性会				
	土屋 友和				
1月分	稲垣 隆	善意銀行って？ 皆様より預託された金品や物品、その他あらゆる種類の善意を、皆様の意向に沿って、これを必要とする在宅の要援護者・社会福祉施設等に払い出すものです。			
	匿名				
	土屋 友和				



今回も多くの方々から多額の預託金品をいただきました。心より感謝申し上げます。